

様式第3号 (第4条関係)

塩竈市議会一般会議報告書

令和元年6月3日

塩竈市議会議長 香取嗣雄 殿

塩竈市議会事務局長 印



開催日時	令和元年5月9日(木) 午後1時00分～2時37分
開催場所	マリゲート塩釜2階ベイサイドルーム
会議の議題	マリゲート塩釜について
出席議員名	塩竈市議会 産業建設常任委員会 委員長 志賀勝利 副委員長 阿部眞喜 委員 菅原善幸 委員 伊藤博章 委員 志子田吉晃 委員 伊勢由典 塩竈市議会 議長 香取嗣雄 (議会事務局) 武田議会事務局長、鈴木議会事務局次長、平山主査
参加関係団体等名	塩釜港開発株式会社 代表取締役社長 加藤慶教 代表取締役副社長 内形繁夫 取締役 佐藤昭夫 常勤監査役 門脇光男 総務部長 星清輝 総務課長代理 渡辺宗年 総務課長代理 平塚信行
参加団体等の人数	7人
傍聴人数	塩竈市議会(9名) 小野幸男 議員 浅野敏江 議員 西村勝男 議員 山本進 議員 今野恭一 議員 菊地進 議員 鎌田礼二 議員 土見大介 議員 小高洋 議員 オブザーバー 佐藤産業環境部長、高橋商工港湾課長、川口みなとまちづくり係長 報道関係傍聴人1名

発 言 者 名	主 な 発 言 要 旨 等
香取議長	<p>1. 挨拶 本市議会では、社会、経済状況等により新たに生じる行政課題に適切かつ迅速に対応するため一般会議を開催している。議会としてマリングート塩釜に係る課題について、塩釜港開発株式会社の方々からご意見を伺いながら、認識をさらに深めて参りたい。</p>
志賀座長	<p>2. 座長選出 志賀勝利 産業建設常任委員会委員長を座長に選出した。</p>
加藤代表取締役社長	<p>3. 開 会 志賀座長より、開会が宣言された。</p>
志賀座長	<p>4. 出席者紹介 加藤代表取締役社長より、塩釜港開発株式会社の出席者紹介があった。</p>
加藤代表取締役社長	<p>志賀座長より、塩竈市議会（傍聴議員を含む）、オブザーバーの出席者紹介があった。</p>
加藤代表取締役社長	<p>5. 挨拶 本日は、ご多用の中、産業建設常任委員会の方々を始め、塩竈市議会の方々との意見交換の場を設けていただき、感謝申し上げます。 産業建設常任委員会の方々には、マリングート塩釜という旅客ターミナル施設の管理運営にあたり、私どもが参考となるようなご意見や示唆に富んだお話をいただけるものと期待している。 限られた時間ではあるが、有意義な意見交換をお願いしたい。</p>
阿部副委員長	<p>6. 質疑応答及び意見交換 将来的な経営のあり方は。目指す展望は。</p>
内形代表取締役	<p>昨年11月に開催された取締役会で承認された経営改善</p>

<p>役副社長</p>	<p>計画を推進することが、今後の経営方針である。</p> <p>その取組の一つである減資については、平成31年3月に開催された臨時株主総会にて承認され、5月末には減資手続きが完了する予定である。</p> <p>また、経営改善計画では、会社として、次の四つの課題があると捉えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高コスト体質の改善。 2. テナント区画の有効利用。 3. 施設の老朽化。 4. 施設利用率の向上。 <p>それぞれについて、今後、鋭意改善していく予定である。</p>
<p>菅原委員</p>	<p>減資に至った経緯は。</p>
<p>加藤代表取締役社長</p>	<p>これまで、単年度黒字決算を続けてきたが、第24期、第25期と2期連続で赤字を計上することとなった。</p> <p>主な要因としては、資本金に対する法人事業税の外形標準課税等の負担が大きく、赤字部分のほとんどを占めるようになってきたことに加え、繰越欠損金が大きな足かせとなっていることから、資本金を取り崩すことで、その解消を図ろうと考えたものである。</p>
<p>菅原委員</p>	<p>第三セクター設立の経過と港奥部開発の先導施設であるマリゲート塩釜の役割は。</p>
<p>加藤代表取締役社長</p>	<p>会社の定款に関しても、会社設立当時の理念と現在の状況は、異なってきているものと認識している。会社として大きな課題として整理し、時代ニーズに合った作り込みを検討したい。</p>
<p>伊勢委員</p>	<p>経営改善計画の実施状況は。</p> <p>また、経営改善計画における組織体制の強化の具体的な取組は。</p>
<p>加藤代表取締役社長</p>	<p>実施状況について、昨年度、経営改善計画を策定し、その大きな課題の一つ目が減資であった。経営改善計画の課題を一気</p>

	<p>にクリアにするということは、難しい話であるので、できるものから一つ一つ解消するべく、皆様のご意見を伺いながら、取締役会で議論し、改善に努めてまいりたい。</p>
内形代表取締役副社長	<p>組織体制の強化について、一つ目として、社員の営業力の向上、二つ目として、旅行会社等への営業活動の強化に取り組んでいるところである。</p>
伊藤委員	<p>塩釜港開発株式会社が設立された経緯から、大きな資本金を持ち、自分たちではどうにもならない支払いをしながら、経営を頑張ってこられたことは理解しているが、昨今の景気状況を鑑みるに、塩釜港開発株式会社の経営の在り方自体を根本から検討する必要があるのではないか。</p> <p>高松市丸亀商店街のまちづくりシステムでは、MINTO出資のため、まちづくり会社で経営しており、市の出資は5%程度である。</p> <p>マリゲート塩釜についても、まちづくり会社で借り上げる等、有料で経営すべきであり、テナントシーリングを図るための人材育成等を行う必要がある。将来的には自治体の出資金比率を下げられるようにしていただき、市の有効資産としての活用を次回の指定管理者の応募にあたって実現されたい。</p>
加藤代表取締役社長	<p>まさに、弊社の大きな課題であると捉えている。ご指摘いただいた内容について、真摯に受け止め、今後の会社の在り方についても検討してまいりたい。</p>
志子田委員	<p>マリゲート塩釜の管理・運営における支出の対策での課題は。</p> <p>また、3階部分のテナントの利用状況と駐車場の無償利用は。</p>
内形代表取締役副社長	<p>支出の課題について、具体的には、空調関係や施設の老朽化であり、これは早期に修繕をしないことからも問題であると考えている。50万円以上の修繕に関しては、市と協定を結んでおり、市が行うものである。市の立場としては、議会にお諮りしながら</p>

星総務部長	<p>ら、計画的に進めてまいりたい。</p> <p>収入については、3階テナント区画が利用されるようになれば、単年度収支が黒字になると見込めることから、積極的に誘致活動を行っている。</p> <p>駐車場については、大きなイベントの際には無料開放していることもある。ただし、駐車場利用料が弊社の一定の収入として見込めることや、無料とした場合、マリゲート塩釜を利用する目的以外での駐車が増え、本来の用途として利用できなくなる方が増える恐れがあることから、現状維持といたしたい。</p>
志賀座長	<p>観光客の8割が通過型であり、マリゲート塩釜に滞留させるための方策やマリゲート塩釜そのもののイベントを目的とする客の確保、観光事業者へのバックマージンは。</p>
星総務部長	<p>旅行会社等へ30分以上の滞在で1人あたり80円を支払っている。また、月1回、土日を中心にイベントを開催するとともに、平日の利用者増へ向けた取組として、ヨガ教室等のカルチャースクールを開催している。テナントの皆様には、そういった機会を積極的に活用され、顧客の獲得に努めていただくよう、今後もマリゲート塩釜事業振興会との連絡を密にして、進めてまいりたい。</p>
志賀座長	<p>バックマージンの単価について、一般的な感覚とのズレがあるのではないか。</p>
加藤代表取締役社長	<p>公設民営の時点で定めた単価であり、検討の余地は十分あると考える。</p>
伊勢委員	<p>テナントへの家賃軽減の対応は。</p>
加藤代表取締役社長	<p>家賃については、条例で定められた基準があり、それが周辺の家賃と比べてどうなのかという問題がある。</p> <p>また、弊社に上限・下限ともに50%の幅で裁量を認めていただいているが、いずれの場合も市長の承認が必要となる。テナントの状況や市の担当者と協議のうえ、対応させていただ</p>

	<p>ているが、一番の問題となるのが、共益費である。施設面積の約半分が公共施設となっており、公共施設分の共益費を当社の収入から負担していることから、その分の負担に頭を悩ませているところである。</p>
伊藤委員	<p>旅行会社の観光ルートの変更の影響もあるかと思うが、関係者から話を聞いたところ、体験型の観光イベントをもっと増やさないといけないのではないかと思う。</p>
阿部副委員長	<p>台湾等からの外国人観光客のルートを例に見ると、仙台国際空港から松島に行き、平泉、函館を訪れてから、帰国するようである。</p> <p>松島では、新たに外貨の両替所を作るという予定もあると伺っており、マリゲート塩釜における環境整備が必要である。</p>
伊勢委員	<p>議会や市に対する要望は。</p>
加藤代表取締役社長	<p>市と協定を結んでいる関係もあることから、市の担当部署を通じて協議させていただきたい。</p>